

子どもはよく鼻血を出します。

学校で友達とぶつかってびっくりするほど出ることもあれば、授業中に急にボタボタ出始めたり、「うちの子はしおりつちゅう朝方に鼻血を出す」と心配するお母さんもい

ます。頻繁に鼻血を出すと、重い血液の病気が隠れているのでないかとの不安がよぎるかもしれません。

「ほとんどがまったく心配のない出血です」と話すのは、笠井耳鼻咽喉科クリニック（東京都目黒区）の笠井創院長。

そもそも鼻血はどこから出血しているのかというと、90%は、鼻を左右に仕切る壁「鼻中隔」の先端にある「キーゼルバッハ」という場所。鼻の孔に小指を入れると、

そもそも鼻血はどこから出血しているのかというと、90%は、鼻を左右に仕切る壁「鼻中隔」の先端にある「キーゼルバッハ」という場所。鼻の孔に小指を入れると、

無意識に鼻をいじつて血管を傷つけている

指先が固く当たる部分です。鼻にファイバースコープを入れて見てみると、毛細血管が網目状に集まり、浮き出たようになっているのがわかります。

かもしれません、刺激にさらされれば同じように出血します」（笠井先生）

とくにアレルギー性鼻炎、風邪

の粘膜が常に鼻水で濡れた状態になつてむくむため、ちょっとした刺激にも敏感になり、いつそそう

えに、細い血管が集中して走っているため、ちょっとした刺激や傷でも簡単に出血してしまうのです

「キーゼルバッハは粘膜が薄いうえに、細い血管が集中して走っているため、ちょっとした刺激や傷でも簡単に出血してしまうのです」

なぜ無防備な鼻の入り口付近に

血管が集まっているのか確かな理由はわかりませんが、おそらく、通過する空気を温かい血液で瞬時に暖めて、冷たい空気がいきなり肺に入らないようにしているのだろ

うと笠井先生は推測します。

運動量の多い子どもは鼻をぶつけるなど外傷の機会が多いし、ムズムズすると無意識に中に指を入れていじつたり、遠慮なく鼻くそをほじるなどするため、キーゼルバッハの血管を傷つけてしまい、

出血しやすいのです。

「何もしていないのに鼻血が出た場合、寝ている間や何かに夢中になつていていた間に鼻をいじつてい

るのです。大人より子どもの方が

鼻血が出やすいという印象がある

特集2



子どもが鼻血を出したらどうすればいいか

どうすればいいか

鼻血を出したら

根拠はありません。

基本は、やや前かがみになつて傷口を手で圧迫すること。

「上を向くと血液がノドに流れてしまします。血液を飲み込む

何の痛みや前触れもなく、突然、タラーッと流れてくる鼻血。

誰でも経験する症状ですが、子どもが真っ赤な血を流すのを見ると、やはり慌ててしまいます。

落ち着いて対応できるよう、

鼻血の原因と正しい応急処置について聞きました。

文◎深津チヅ子 イラスト◎土田菜摘



「一時的に大量に出血しても、毛細血管からの出血ですから半日もすればカサブタができる落ち着い

「片方からの出血でも、両方に押さえた方が圧迫しやすいでしょう。ティッシュペーパーでもいいのですが、抜き取る際に、固まりかけた粘膜表面をはがしてしまい、再出血することがあるので、できれば脱脂綿を用いてください。オリーブオイルやワセリンなど油成分のものを脱脂綿に塗つておくと、スルリと抜きやすくなります」と笠井先生。

「その上で、子どもの親指の先ほどの脱脂綿をギュッと丸めて、鼻の中に少しきつめに詰めます。キゼルバッハ部分にあたる、小鼻を外側から15分ほど押さえます。

「当院では、高周波（ラジオ波）を使って傷口を焼灼して固めます。一度焼いてしまえば、そこから出

と吐き気をもよおすので、出血したら必ずうつ向き加減の姿勢をとらせます。血液がボトボト流れ出るかもしれません、タオルなどで受け、ノドに落ちてきたものは吐き出させるようにしてください」（笠井先生）

脱脂綿を両方につめ 小鼻を15分ほど押える

繰り返し鼻血に悩まされたり、なかなか鼻血が止まらないようであれば、奥の方の血管が傷ついている可能性があるので、耳鼻咽喉科の受診を。出血箇所を確認し、傷口を固める軟膏や粘膜丈夫にする薬で治療します。場合によつては、出血しやすい場所を電気凝固させる方法もとられます。

「他の部位からも出血しやすいなどの症状も現れて、単なる鼻血ではないと感じるはずです。その場合は小児科を受診して、出血の原因を調べてもらいましょう」

「いずれにしても、まずはお母さんが冷静に対応し、出血を見て動搖する子どもを落ち着かせることが大切です。

